

TILL WE MEET

For Our Members

ENGLISH ADVENTURE

MONTHLY
No.270

Sep. 2007

アメリカ映画協会選出
名画ベスト100

『市民ケーン』
1位譲らず！

6月にアメリカ映画協会 (AFI) が、歴代の映画の中で最も優れた映画100本を選出し、オーソン・ウェルズ先生が25歳の時に監督・製作・脚本・主演を手掛けた映画『市民ケーン』が堂々1位になりました。

ベスト100が書き換えられるのは実に10年ぶりですが、『市民ケーン』は前回と変わらず貫録のトップ！いつまでも色褪せることのないオーソン先生の名作を、みなさんもぜひご覧になってみてください。



リッチマン大旅行

100年の

ナポリ編

イタリアあちこち、出会ったあれこれ

ヨーロッパを旅するとしてベスト1の国はどこかと問われたら、リッチマンは迷わずにイタリアを選ぶ。食事は美味しいし、ありあまるほどの文化遺産。それには明るくて親切、履き心地のいい靴やオシャレな服が現地価格で買える。この点でいつも感心させられるのは、日本人がこんなにわんさと押し掛けてもミラノやローマのブランド店は、日本人がたくさん来るからと言って値段を吊り上げるようなことを決してしない点である。世界中の空港の免税店では値段をどんどん上げて、ウイスキーのボトルがついに街のスーパー・マーケットよりも高くなってしまったところもある。イタリアの商人魂をリッチマンはまず称えたい。とは言え、イタリアには危ないところもいろいろある。若い女性と見るとしつこく追い掛けてくる男たち、コソ泥に、インチキ客引きなどなど。そこで今回はイタリアの面白いとこ、気をつけたいとこの総集編！

彼女は本当にスチュワーデスだったのか？

歌と太陽の街などと宣伝されているナポリ。海は青く活火山のベスピオスがあり、その麓には有名なポンペイの遺跡がある。このナポリへ向かう車中でリッチマンは25才くらいの女性に声を掛けられた。ちょっとした美人である。航空会社に勤めていてスチュワーデスをしていると自己紹介する彼女は、いかにも世界中を飛び回っているらしく世界各国のワッペンを貼りつけたスーツケースを持っている。リッチマンがナポリへ行くところだと言うと、彼女もそうだと言う。

旅は道連れとも言うし、第一彼女は美人だ。これから先の旅が楽しく

なりそうだ、などと思わないところがリッチマンの旅慣れているところである。彼女はむしろ、どことなく変だ。若い女性が初老の男に声を掛けてくること自体が変わっている。スーツケースに世界中のワッペンをベタベタ貼っているところもわざとらしい。リッチマンの頭に若い頃の体験がよぎった。友人と香港に遊びに行った時のことである。その時、悪友のHくんがポン引きに引っ掛けられ、様々な制服を着た女性を紹介され、その全員からチップをふんだくられたことがあった。男が制服の女性に弱いところを狙った、程度の浅い詐欺である。香港での体験を踏まえ、いろいろ意地悪な質問をして相手の化けの皮を剥がすのも一計だが、リッチマンはそんなことはせず、相手に調子を合わせて上辺の会話に終止した。

ナポリのひとつ手前の駅に着くと、彼女はここで降りましょうとリッチマンを急かせた。ナポリは次の駅のはずだからとリッチマンは動かずにはいると、彼女はここで降りた方がいいの一点張り。リッチマンは頑として動かず、

「どうぞお先に」

と言うと、彼女は例のスーツケースを引きずって列車から降りて行った。窓から見ていると、列車から降りた彼女は何やら怪し気な男とホームの外でヒソヒソ話をしている。やっぱり怪しい！ リッチマンは予定通り次の駅で降りるとそこは正真正銘のナポリ駅で、タクシーに乗るとホテルにもすぐ着いた。あの女の言う通り手前の駅で降りていたら、どうなっていたのだろう？ 男の車に乗せられ人里離れた山の中に連れて行かれて……まあ本当のところはわからないが、何ごともなくてよかった。それとも美人スチュワーデスとのせっかくのチャンスを逃してしまった



ヨーロッパの都会では、繁華街をブラついているのは老人ばかり。若者や子供はどこへ行ってしまったんだろうと思うほど。高齢化が急速に進む日本も、すぐこうなるはず



ヨーロッパのホテルは、高級でも部屋数の少ないところが多い。有名なショッピング通り《モンテナポレオーネ》に接して建つ
ミラノの《ル・グランドホテル》は、5つ星だが、ご覧のようにちっぽけ
【ミラノの高級ホテル《ル・グランドホテル》】

のだろうか？ 今となっては神のみぞ知るである。

生々しいのだが、その絵のレベルは今の水準で言うと子供が描く落書き
のように幼稚なのがとてもおかしかった。

近代設備がもたらした大災害

A.D. 79年に起きたベスピオス山の大噴火でポンペイの街は1日でこの世から消えてしまった。しばらくその存在すら忘れられていたが、18世紀に発掘が始まり、街の大半が姿を現わした。発掘は今でも続けられていて、いろいろ発見があるようだ。遺跡は世界遺産にも登録されていて、毎日大勢の観光客が押し寄せる。火山灰に埋まる前のここは一体どんな街だったのだろう。昔の生活がタイムカプセルから取り出されたようでは興味津々である。完全に舗装された石畳には深いわだちが出来ている。小さなコミュニティーで毎日繰りかえされる生活風景が目に浮かぶようだ。1軒1軒の敷地は広く、かなり豊かだったことが伺える。ただしどの家にも奴隸用の小部屋があって、その豊かさは奴隸の存在に支えられていたのだとわかる。これは太古から現代に至るまで続くヨーロッパ社会の矛盾点だ。

噴火で消滅する前のこの住民の平均寿命は異常に短く、30代で死ぬ人が大勢いたという。その原因がわかって現代の我々はがく然とする。この街の自慢は上・下水道の完備だった。公共浴場には壁から蒸気が吹き出すサウナ風呂まで完備していた。ところがこの近代設備に落とし穴があった。水道の管に鉛を使っていたのだ。鉛は軟らかく曲げやすいから工事もやりやすかったのだろう。ところが鉛中毒というものがあることに、当時の人たちは気づかなかった。毎日水を飲むたびに鉛を少しずつ摂取し続け、ついに原因不明の病に倒れ、せっかくの寿命を短くしてしまったというわけだ。近代設備を妄信せずに疑ってかかるのも、これからの我々に必要なものでは。

ポンペイのある大きな家の壁には生々しいポルノが描かれていて、その屋敷はプレイボーイの家などと呼ばれている。ポーズや色彩は大胆で

美術館の大行列

ローマのところでも書いたが、現在地球上の人口は10年で10億人の割で増えている。リッチマンが少年の頃地球の人口は15億だったが、それがこの半世紀の間に60億にまで増えてしまった。実に4倍である。そこへきて航空路の発達と高所得層の増加で、世界中の文化財に人が殺到するようになってしまった。“古きよき時代”と、ついこぼしたくなるが、リッチマンが若い頃は美術館に足を運ぶ観光客は酔狂な人が専門家くらいで、どこのギャラリーもガラガラだった。それがどうしたことだろう、今はどこの美術館でも長蛇の行列ができる。フィレンツェのウフィツチ美術館などはいつ行っても2、3時間は待たされる。ダヴィンチの壁画『最後の晩餐』があるミラノの教会は、ついに予約制になってしまった。しかも何人組かのグループに入れられ、決められた時間内に出てこなくてはならない。世界の人口が増えても古い文化遺産は増えないのでから、こういう現象になる。これからは、観光業社が作るパッケージに乗らないで自分なりの楽しみを見つけた方が、快適な旅行ができるかもしれない。

列車の旅はつづく

ナポリから一旦ローマに戻ったリッチマンは、これからフィレンツェ、ピサ、ベニス、ミラノの順で訪問する予定。では次をお楽しみに。

→ 次号につづく

ス・ガーバーはそう考へていた。ミス・ガーバーはぼくたちの高校で演劇の授業を担当する先生である。彼女は、自分がこれから演出するドラマへの情熱で燃えていた。演劇クラスの初日に先生を見てぼくはそう感じた。

その年、ぼくは演劇を選択するつもりなど最初からなかつた。化学IIをとるか演劇をとるかの選択に迷つた結果、演劇を選択するつちに転んだだけだつた。ノートもいらないし、テストもないし、プロトンだとかニュートロンだとか七面倒くさい化学式を覚えなくてすむと思つたからだ。高校の授業で演劇ぐらいためなものがいるだろうか？ これで充分昼寝ができると計算しながら選択の申し込みをしたぼくだつた。夜遅くピーナッツを食べるにも好都合ではないか。

授業の初日、ぼくは遅刻した。ベルが鳴つたあとで教室に入り、クラスのうしろの席にすペリこんだ。ガーバー先生は生徒たちに背を向け、自己紹介するため自分の名を大きく黒板につづっていた。しかし、自己紹介などするまでもなく、みんなは彼女のことよく知つていた。知らずにいるほうが無理というものだつた。一八五センチの長身に、炎のような赤毛。血色の悪い肌は、そばかすをよく目立たせて、いかにも四十代の女性であることを証明していた。太りすぎでもあつた——正直言つて、九〇キロを超えているのではないか——それが好きなのか、いつも花柄のムームーを着ている。太い角縁のメガネをかけ、誰にでも

「ハロウウウウ！」と歌うように呼びかける。とにかく独特で、悪いことに、独身である。年齢を問わず、彼女に食指を動かす男などまずいだらう。彼女は黒板に書かれた自分の名前の方に、今年達成すべき目標を書いた。自信を持つこと。がその第一だつた。第二は「自意識」。第三は「自己の確立」だつた。ガーバー先生は自分。が得意らしい。本人は気づいていないのだろうが、それだけはかなり人より先を行つていると言える。この分野の開拓者かもしれない。彼女自身の見かけと無関係ではないのでは。つまり、彼女は「自己」を主張すること、なんとなく自分自身の存在に安心感が持てているのではないだらうか。

話は横道にそれてしまつたが、本題に移ろう。

ぼくはクラスに出席して初めて、ちょっとおかしいことに気がついた。ピューフォート高校は決して大きな学校ではなかつたが、男女の数はだいたい同数のはずだつた。ところが、演劇クラスは九〇パーセントが女性だつた。それにはぼくも驚いた。ぼくのほかにもう一人男子生徒がいてくれて本当に助かつた。右を向いても左を向いても女の子女の子のなかで、ぼくは世界の人たちよ、この勇敢なぼくに注目せよ。の心境だつた。いくらテストがなくとも、女の子ばかりじや、緊張の連続でへとへとなつてしまつたのでは。いいだらう。ぼくは決して進歩的な若者ではない。

ガーバー先生はさつそくクリスマス劇のことをとりあげ、この年の天使の役をジャミー・サリバンに決めたことをみんなに話すと同時に拍手を始めた。教会のメンバーでもあるガーバー先生は、牧師のヘグバートに色目を使つていていた。その話を初めて聞いたとき、ぼくは、「一人が子供をつくれないほど歳を食つていてよかつたと思つた。透きとおるような肌にそばかすだらけの子供ができるだらうなる？」

それを想像して、みんな身震いするくせに、ガーバー先生やヘグバートの耳に入る範囲では決してそれらしいことは言わない。当人に聞こえないうわさと、当人を傷つけるうわさとは、まったくの別物なのだ。学校のなかでも、ぼくたちはそれほど意地悪ではない。

ガーバー先生はいつまでも拍手を続けた。彼女がみんなの拍手を誘つてているのは明らかだつたので、やがてクラスの全員が拍手を加わつた。

「立ちなさい、ジャミー！」

言われてジャミーは立ちあがり、周囲を見まわした。ガーバー先生は映画スターに送るよう、さらに力強い拍手を続けた。

正直に言つて、ジャミー・サリバンは氣立てのいい子だつた。ピューフォートは小さな町だつたから、小学校はつしかなく、卒業するまでぼくたちは全員が同じクラスだつた。彼女と話したことがないと言つたら嘘になる。二年生のとき、ジャミーとぼくは一年間となり同士の席だつた。だから当然お互に口はきいたが、かといつて、休み時間も一緒に遊ぶほど仲よしではなかつた。教室でとなりに座る子供と、放課後に会う子供とはぜんぜん別の種類なのだ。その意味で、ジャミーがぼくの交際リストに入つたことはない。

ジャミーが可愛くなかったから、というわけでは決してなかつた。ぼくを誤解しないでほしい。彼女は無口で陰気なわけでもなかつた。幸いなことにジャミーは母親似だつた。ぼくは写真でしか知らないわけだが、ジャミーの母親が結婚した相手のことを考えれば、その子供であるジャミーはいい線を行つていたと思う。でも、彼女はやせていて、髪の毛はブロンドで、目は明るい青であるにもかかわらず、ぼくが考へる美人の基準には入らなかつた。むしろ一見して平凡だつた。

ジャミーは、みてくれ。を気にしない子だつた。見かけよりも「内面の美しさ」を求めていたのだろう。だからこそ、いつも平凡に見えたのかもしれない。ぼくが覚えていたかぎり、彼女はいつも、独身主義者の女性のように、髪の毛をうしろに回して固く結んでいた。それに茶色のカーディガンをはおり、無地のスカートをはくと、まるで図書館へ就職の面接に行くような冴えない学生に見えた。そのうち彼女も変わつた。うわさでいたぼくたちが間違つた。高校での三年間、彼女はまるで変わらなかつた。変わつたのは着ている服のサイズだけだつた。

つづく

連載 小説 奇跡を信じて

ニコラス・スパークス 作
天馬龍行 超訳

第3回

★ 前回までのあらすじ ★

アメリカ、ノースカロライナ州の海に面した小さな町、ビューフォートでは、毎年クリスマスになると地元の高校生たちが、バプテスト教会のヘグバート牧師が書いた『クリスマスの天使』という劇を公演していた。観客が涙をボロボロこぼす感動的な物語に毎年劇場は満席になり、ランドン・カーター少年が高校生になる頃には、座席数の多い街の劇場で毎日2回上演されていたほど好評だった。

一方、カーター少年の父親は下院議員を務めていた。1年のうち9ヶ月をワシントンで過ごす留守がちな父親は、町に戻ってきた時は必ずヘグバート牧師の教会に礼拝に出かけた。しかし、礼拝の中でヘグバート牧師の政治的な言葉には目を閉じて聞かないふりを通すなど、2人の関係はいつもどこかぎくしゃくしていた。そして、2人がうまく行かない原因は政治だけではなく、もっと昔からいろいろとあつたらしかった。

話題を前に戻そう。ぼくの祖父が悪辣な人間であることを知ったヘグバートは、祖父の手伝いをやめて牧師の道に入り、やがてビューフォートの町に戻ってきた。そして、ぼくたちが通う教会を受け持つことになった、という次第である。最初の数年間の牧師は熱に浮かされたように働き、月に度の説教のときは欲深さの罪を説くあまり、ほかのことにふれることができなかつた。

四十三歳で初めて結婚した牧師は、五十五歳のとき娘ジャミー・サリバンをもうけた。彼よりも二十歳若い、わらのようほつそりした牧師の妻は、ジャミーを産む前に六回も流産していた。そして結局ジャミーを産んだときに死んでしまつた。やもめにされたヘグバートは男親だけで娘を育てることになった。

当然、彼の書いた劇はこれらの悲劇が土台になっている。

みんなは劇を見る前から話の向きを知っていた。ヘグバート牧師が赤ん坊に洗礼を与えたり、葬儀に出席したりしたとき、よく口にするエピソードでもあつたからだ。クリスマスの劇を見る観客があれほど感動して涙を流すのはそのためだとぼくは思う。実話に基づいていふことを、つまり、『クリスマスの天使』には特別な意味があることを、みんなは知っているのだ。

この銀行は不審火で焼け落ち、おりから不況のせいもあって、再開することはなかつた。不審火で焼け落ちたのは銀行だけではなかつたから、住民が恐れおののくのも当然だつた。彼のとる利息が法外だつたから、借金を払えなくなつた農民たちから取りあげる土地がどんどん拡大していった。不況がもつとも深刻だつたとき、彼は一つの郡で何十か所もそういう土地を抱えていた。土地を取りあげても、農民を追いださないところが彼のうまいところ

だった。農民をそのまま労働者として使い、生きていくのにようやつとの給料を与えてタバコの栽培を続けさせるのだ。経済が回復したら土地は返してやるとの彼の言葉を農民たちは信じた。

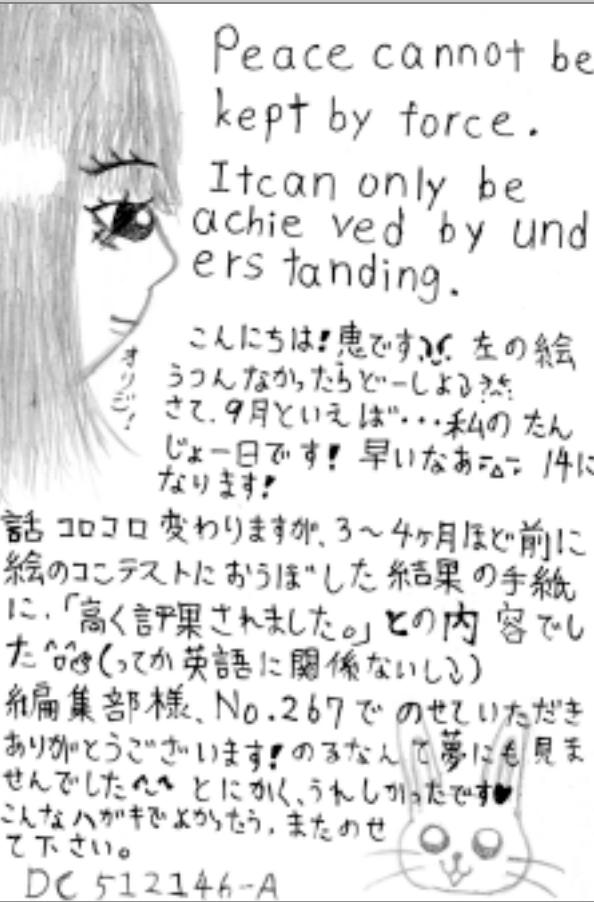
しかし、約束が実行されたことはただの一度もなかつた。

そのうち彼は郡経済の浮沈を握るようになり、その力を背景に、あらゆる機会を利用して政治に口を出した。こんな祖父だつたから、やがて天罰のような非業の死を遂げることになつた、と言いたいところだが、実際は幸せのなかで死んでいた。寿命と言つていいほどの高齢で、息を引きとたのはケーマン諸島沖のヨットの中、愛人と一緒に寝ているときだつた。結局、彼は妻よりも人息子よりも長生きしたわけである。なかなかのものではありますか？ 人生とはなんと不公平なのだろう。学校でいの一番に教えるべきはそのことではないか、とぼくは本気で思つている。

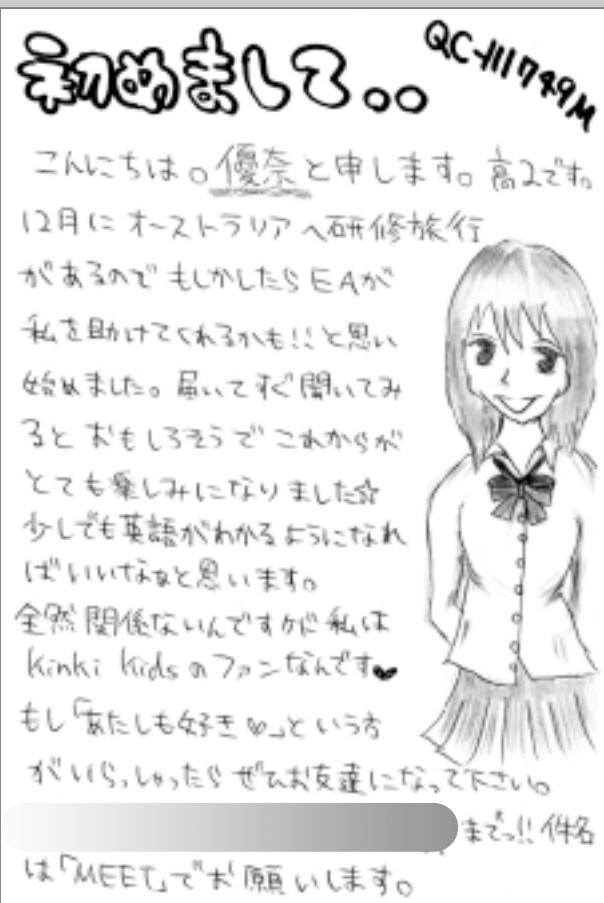
話を前に戻そう。ぼくの祖父が悪辣な人間であることを知ったヘグバートは、祖父の手伝いをやめて牧師の道に入り、やがてビューフォートの町に戻ってきた。そして、ぼくたちが通う教会を受け持つことになった、という次第である。

そのジャミー・サリバンは今ぼくと同じ高校に通つていて、今年の劇の主役『天使』を演じることに決まつていて。初めから彼女に決まつたわけではなく、チャンスはほかの子にもあつたのだが、結局は彼女に落ちついたのだ。このことで、今年の劇は特別に盛りあがる、とみんなは感じていた。これまで最大の見せ物になるかもしれない——少なくとも

メンバーからのおたよい



★冬瑠さん、ホントに時間が経つのはあつという間ですね。今年ももう後半ですもんね。★恵さん、14回目のお誕生日おめでとうございます！★九壹さん、確かに腰の方がよさそうですね。あのドラえもんも、最初は（最初だけですが）タケコプターを腰につけてたんですよ。（編）



★果樹さん、ガツツポーズが目に浮かびます。これからも末永くEAそしてMEETと仲よくしてくださいね。★優奈さん、はじめまして。オーストラリアの研修旅行、楽しみですね。今からしっかり準備してるんですから、きっと思いっきり楽しめると思いますよ。 (編)

ありがとうございました

4年間毎月手にきていたMEETはもう私の元
へはやってきません。さみしあき"玉木(PA)"。
やめてハグキを出したのは忘れないトド^⑥でひ
弟と"ちがナルトをうまく描けるか"の対決⁷
絵いががついてからだ。それまでは本当に棒人間
しいかけない手だったため、MEETは私
には無くて済みました。おみせん… 絵本は2枚目に…



2枚目。でも、東が私に火をつけてくれたので、MEETと共に青春を過ごす
ことができました。本当に感謝です。さみしあきはどこであります。
皆さん、MEETを大いに活用して下さい。私はここで"棒人間"と出会い、
色々と学び、画力もつけてきました。棒人間車内から、CALLをもらえる
ようにがんばります。今、「下手だから」と出さず、いる方は今すぐ絵画をかきましょう。後悔しません。

下手な私に最後までおこがましく教して下みません。
をおでこ編集様は載せて下さり、コメントもください
ました。ほんとうにありがとうございました。
そしてこんな私と仲良くなってしまった方、CALLを
くれた方、そしてハグキを見て下さった方。
ほんとうにありがとうございました!!!
MEETは私の宝物です。全アーティシャンが2.3冊分の
厚さで私が、汽車の時はずっと逃げました(笑)
あとと未絵がましく書きました。おめでたさい。
手書きの…もとい自筆がたつまは早いです(笑)
で、くどいでもあるから一度のありがとうございました!!!
ナレトニセキヨナルヒに参りました。おまかせ DC 057655-0 レイド

★しゅりイさん、4年間お疲れ様でした。棒人間しか書けなかつたなんて信じられないくらい、いつもステキなイラストをありがとうございました。3年半でとても上手になりましたね。火をつけてくれた弟さんに感謝ですね。MEETを宝物と言ってくれるなんて、編集部はとても嬉しいです。 (編)



★日影アラギさん、ぜひぜひマツチョもたくさん描いちゃってください！ 編集部はみなさんが描きたいものが見たいですよ！ ハロウィンのイラストも楽しみにしてますね。どなたと合作されるのか、今からワクワクしています。 ★樹羅さん、はじめまして。受験勉強頑張りますか？ 苦手な英語、EAを楽しみながら大好きになってもらえたたら……と思っています。応援していますよ！ (編)

この秋！アカデミー出版

超面白い本が立て続けに3冊発行されます。その内容

第1弾

今月発売



シドニイ・シェルダン 作
『新十戒』1,300円(税込)

“なんじ隣人のものを欲するなれ……” ご存じユダヤの民の指導者モーセが神との約束のもとに定めた十戒。しかし、それはもう2000年以上も前の話。目まぐるしく生きる現代人には通用しなくなってしまった。世の中はどんどん複雑になっているのだ。

そこで、シドニイ・シェルダン先生が超面白い十戒を提案する。ええっ？ 十戒を守らない方が幸せになれるんだって？ あとは読んでのお楽しみ！

第3弾

ジョン・グリシャム 作
『薬害』(上・下)

最近、日本でもインフルエンザの特効薬が服用を予言したようなストーリー設定にびっくり。

ドラッグ中毒患者への特効薬を開発した製薬会社がとんでもない行動を取るようになる。それに駆けずり回るが、製薬会社に対し集団訴訟を起こさう。貧乏弁護士はたちまち米国有数の金満家にな計算か、それとも……。

からうれしい3連発！

を MEET の読者だけに少しバラしてしまいましょう。

第2弾

10月発売予定

天馬龍行 編

『365日笑っちゃ^オ0
ジョーク世界一』

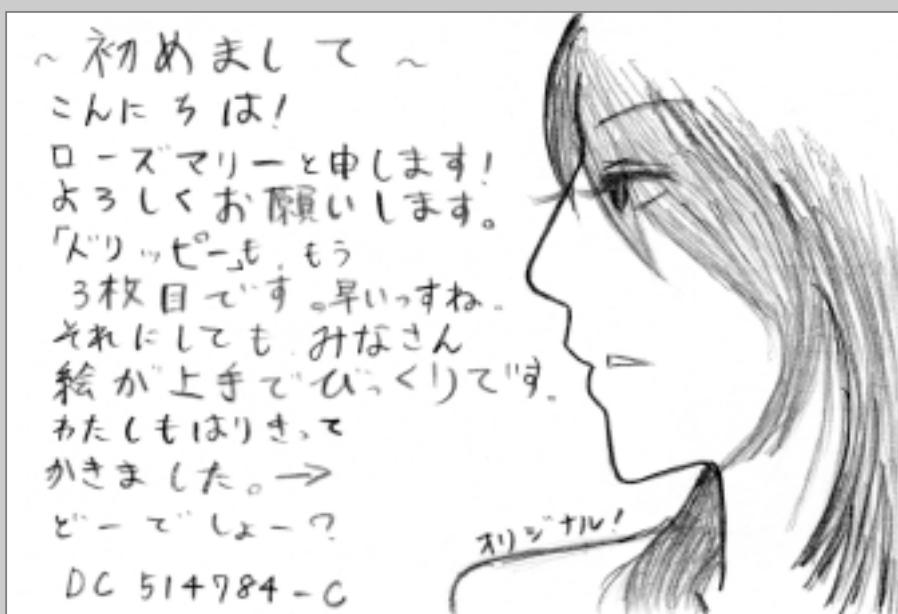


天馬龍行先生が半世紀に及ぶ外国の友人との交流や海外旅行、外国生活などを通じて教えられたり聞き及んだジョークを収めた本。特に面白いものだけを選んであるから爆笑すること間違いないし。1日1題読めるように編集されているが、この面白さなら1題で何日も笑える！ 20年も前から温めていた企画だとか。早速本屋さんでチェックしよう！

者の不審な行動を誘発しているのではと騒がれた。そ

会社が万全な態勢で治験に臨むが、被験者の数パーセン
いち早く気づいたひとりの貧乏弁護士、正義を求めて
してぼろ儲けを企む弁護士グループの誘惑に負けてし
に。しかし、やがてその日が……。最後に勝つのは冷徹





★水都さん、最後のおハガキは先月号に緊急掲載したので順番が逆になってしまってすみません。またいつでも『コインの冒険』に帰って来てくださいね。 ★ローズマリーさん、はじめまして。『ドリッピー』は楽しんでいただけていますか？ ローズマリーさんのイラストも、とても上手ですよ。 (編)

現在7ヶ月の息子の子育てに追われながら、ひとかけらの向学心を満たすべくEAにお世話になっています。NOTES & EXERCISESをする余裕がもてず唯々CDを聴いているだけですが、それだけでも不思議と聴き取れてくるものですね。

私はかつて流行した米国大学日本校の卒業生という経験があります。英語が好きで入ったわけではなく(当時成績は「2」でした)、入るところがなくて入ったのでした。4年で卒業しましたが、TOEFLを基準までクリアするのにはとても苦労しました。でもいつしか英語が好きになっていました。たいして話もできないし得意でもないんですけど、単純に楽しく感じられるようになりました。

そんな折、EAと出会い、学生時代の苦い思い出も重ねつつ聴いています。

現在『追跡』で、来年1年するとEAを全てやったことになります。毎月の楽しみがなくなりそうで、本当はもっと続けたいですが、今まで届いたCDをもう一度聴き直してみようかなと考えています。そのうち息子の役にも立つ日が来るでしょう(笑)育児が落ち着いたら、生の英語に触れるべく、ダイビングもしたいので(潜る方)海外にも行こうと思っています。

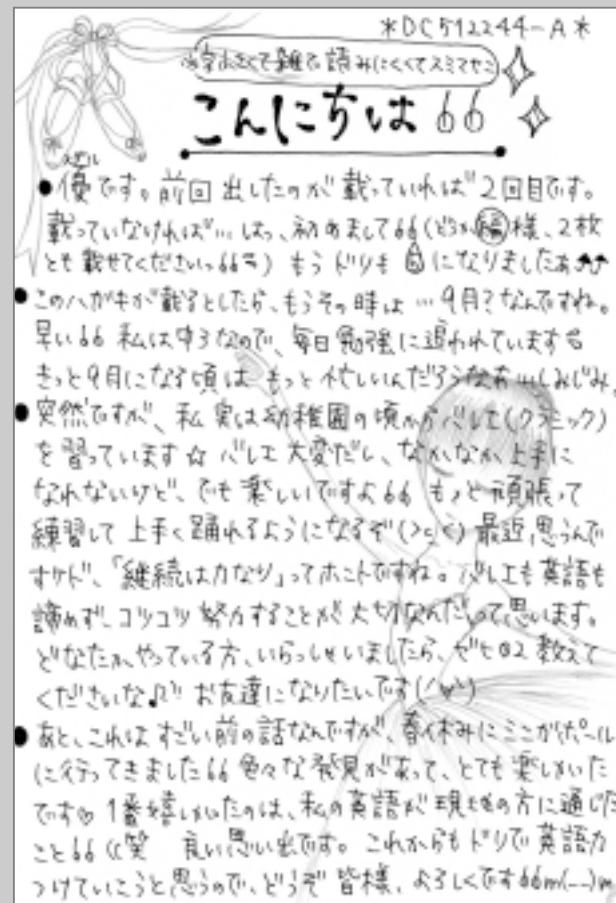
今度は学生時代の、英会話にまつわる珍体験を送る予定です。

CC 59473-Q よっしい

こんにちは。全茶です。(実は中2。)
この前のやつのアタラ、2回め。
のってながったらいい×マジでよ
只今、中向テスト2日前。
こんなにしていいのか!と自問自
答をくり返しつつカリカリ
と書き進めています。

①この前、体育の授
業中に剣玉手の人
指し指を突き指OIZ...
なぜか包帯ケルケル巻き
に。《おおけはだよお
②もうスゲ 英検やあ
ります。EAを使って
勉強④!初めて
なのでキチヨ→
してます。
へ編集部やん
今回は一応、父の
名前をせせせて
いたしまじょー
ハガキが送り主になってしまってます(スイマセン)

★よっしいさん、言葉は楽しむのが一番ですね。聴いているだけのことですが、もう3年もEAを頑張っているのですから、だんだん耳が慣れてきているんでしょうね。学生時代のお話、楽しみに待っていますね。 ★全茶さん、2回目ですよ！ 初めての英検はどうでしたか？ ぜひ結果を報告してくださいね。 (編)



★優さん、前回も掲載していますよ！ 受験勉強に英語、そしてバレエ。とても忙しそうですがコツコツと頑張ってくださいね。楽しんでいる優さんなら、きっとどれもステキな成果が出ると思いますよ。 ★チホさん、お友達みたいにいろんな文化に馴染んでいくのは、世界が広がってとても楽しいことですね。チホさんもEAをいっぱい聴いて、どんどん海外の文化に触れてみてくださいね。 (編)



★さやかつぺさん、英語が楽しいのはとてもいいことですね。楽しんでいればきっと上達します。英検もきっと合格ですよ！ ★アグリーガー
ルさん、常連のみなさんの卒業は本当に淋しいですよね。編集部も同じ気持ちです。どうぞみなさんで、MEETをどんどん盛り上げてください
ね～！ ★キノさん、こちらこそ改めてよろしくお願ひします。これからもおハガキたくさんくださいね。 (編)

One-line Joke

Father : Don't be ridiculous! We can't keep a pig in the house. Think of smell.
Son : Don't worry. He'll soon get used to it.

☆懸賞☆

One-Line Joke をくすっと笑えるような自然な日本語に訳してみよう。
自信のある方はMEETの編集部「One-Line Joke係」まで
送ってください。10月10日(水)締切り(消印有効)です。
優秀者に金一封を、佳作者にアカデミー出版の書籍を贈呈いたします。
発表は3ヶ月後のMEET誌上(No.273)で行ないます。
なお、優秀者がない場合は、佳作賞のみとします。

Let's challenge!!

前回のジョーク 結果発表

He gave a tremendous speech. Everyone was moved...toward the exit.

優秀賞

☆ 彼、すごい演説をしたよね。誰もがそれに突き動かされていたね。……出口へ、ネ。 (DC 512742 山崎さん)

佳作賞

☆ 彼のスピーチはものすごかったわ！ 誰もが動かされたもの……出口の方へだけど。 (QC 108992 ♥バンビ♥さん)

☆ 彼は世紀の大演説を行い、聴衆たちは皆、心を揺り動かされた……出口の方向に……。 (CC 059198 真鍋さん)

☆ 彼のスピーチはすごかった。皆、動かされたから……心でなく、出口の方へ。 (DC 516570 TOYAMAさん)

☆ 彼のスピーチは驚異的だった。誰もが突き動かされた……出口へと。 (CC 058010 みゆきさん)

☆ 彼はものすごい演説を行い、誰もが心を動かされた。出口へ向かいたいと。 (DC 494713 植竹さん)

☆ 彼の饒舌なスピーチは、聴く者すべてを突き動かした。ただしその心を……、ではなく出口へと。

(HD 107808 山田さん)

正解者

☆ DC 504970 元原さん

☆ DC 500208 勝畠さん

☆ DC 512267 木村さん

☆ DC 510056 森さん

☆ DC 509696 片田さん

☆ DC 510579 横井さん

☆ DC 509261 吉田さん

☆ DC 511719 鮎太郎さん

☆ CC 059454 中西さん

☆ CC 058334 矢谷さん

☆ CC 057898 上村さん

☆ QC 110800 chen-minさん

☆ QC 110288 風間さん

☆ QC 111296 織田さん

☆ QC 111781 ブフさん

☆ QC 111585 good girlさん

☆ QC 108425 佐藤さん

審査委員長からひと言

今回はちょっと意地悪して、みなさんに翻訳の限界にチャレンジしてもらいました。どんな訳が来るか楽しみにしていたのですが、いつも通りたくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。

このジョークのポイントは、文中の“move”に「人を感動させる」という意味と「人や物などを動かす」という意味があるのを上手く使ったところにあります。それが“was moved”になっていますから、意味的には「感動させられた」「動かされた」となります。それを日本語にどう訳すかが、ジョークとしての勝負どころです。

訳としても正解で、語調もいい山崎さんの作品に優秀賞を差し上げたいと思います。なお、正解者の中には佳作賞のものとあまり変わらないものがたくさんあって、その線引きが苦しかったのですが、“面白さ”という点で決めました。次回もよろしく！

我らが能登でショートステイをしていた外国人のために通訳ボランティアをしてきました。毎日EAを聴いたおかげで会話には苦労しませんでした。との時の体験談をしましょう。参考になればうれしいです。

まず革靴は着脱しゃすいタイプで。お寺などに上がる時モタモタにならないのが。



スケッチブック&ペンは役に立ちました。通りない時は絵写りや絵書き!

もちろんメモも



漢字で名前を書いあげたらよろこびますよ! 管やん

どうぞすか~? おとはEAを聴いて精進せよ!

相手の食べられない物も聞くおこう! 食事の時も食材の説明がぎくふと良いですね。



手まねきは西洋式の方が良さどうぞ。



音楽は世界の共通語もピアノをひいたらアメリカ人のおじいさんが『キミの熱いハートに答えたい』と言ってフルースを少しひいてくれた。楽器はひけて損は無し。

どうぞすか~? おとはEAを聴いて精進せよ!

CC059842W
ナカハシ



★ナカハシさん、役に立つ体験談をありがとうございます。靴やスケッチブックなど、どれも「なるほど」と思うことばかりですね。私の友人は夏に花火を用意して喜ばれたそうですよ。名前を漢字にしてあげるというのも、なかなか面白いですね。★ちーすけさん、はじめまして。送っていただいた和紙のハガキはもしかして手漉きですか? 紙面では、和紙の落ち着いた風合いが伝えられなくて残念です。 (編)

初めまして

初めてなります。私は、Sunです。

私は欧洲が大好きなんですよ

例え、歌でもAvrilが好きで、歌者(?)でも、

AshleyやBrenda, Mileyなど...全てがアメリカ人。

英語も大好きで、毎日歌って楽しくなっています。

私は、今、本を読むのにハマって

いるのですが、作者もなぜか外国人。。。

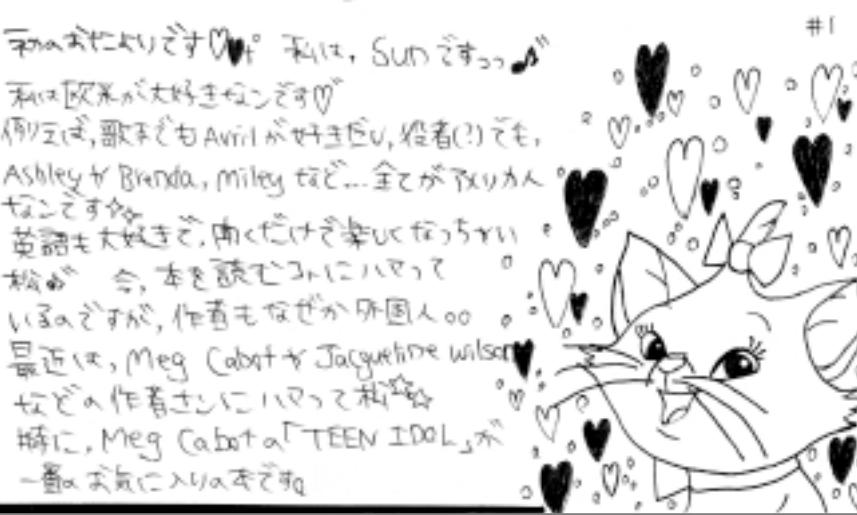
最近は、Meg CabotやJaguthine Wilson

などの作者さんにはまっており

特に、Meg Cabotの「TEEN IDOL」

一番お気に入りの本です。

DC 514353-W



★Sunさん、はじめまして。毎日楽しく英語に接しているみたいですね。聞くだけで楽しくなっちゃうなんて、うらやましがる人がいそうな話です。まさに好きこそもの上手なれといった感じですね。Sunさんならすぐに本は原文、映画は字幕なしで楽しめるようになれそうですね。その調子でほかの科目も頑張ってくださいね。 (編)



★舞氷さん、2年間お疲れ様でした。そして、いつもカッコいいイラストをありがとうございました。毎月楽しみにしていましたよ。またきっと帰って来てくださいね！ 待ってますよ～！ (編)

Traditional Idiom & Slang

"can't make heads or tails of something"

- Keener I'm not sure now if I want to marry Gloria or not.
I still love Lisa.
- Slacker Really What are you going to do?
- Keener I don't know who want to marry.
I can't make heads or tails of it.



Ms. Rinai Olsen

Think of a coin. A coin has two sides; a “heads” and a “tails” side. When you simply cannot make a decision, you say “I **can't make heads or tails of it**”. This means that even if you flip a coin to let the coin help you decide, you still can't come to a conclusion.



★若草さん、1ヶ月の間に張り切って4枚ものおハガキ、ありがとうございます！若草さんも気がつかなかつたみたいですね（笑）EAを、そしてMEETを楽しんでいただいているよう、編集部はとても嬉しかつたです。海外研修には出かけましたか？

MEETでは楽しいおたよりをお待ちしています！

MEETは、みなさんからのおハガキやお手紙で作られていく、EA会員のための月刊会報誌です。英語を楽しく勉強するために、成果の声や自分の好きなイラストを描いたおハガキ、写真を添えたお手紙など、全国からおたよりを集めて掲載しています。新しく会員になられた方や、もうすでにMEETをご覧の方など、会員であれば子供も大人も参加は自由！「イラストが描けないからダメだ」「ドキドキしちゃう」なんて考えずに、お気軽に送ってみてください。ここだけの話ですが、掲載される確率は高いですよ！

海外での体験記も募集中！

みなさんの海外留学や海外旅行での体験談も募集しています。ピックリしたこと、面白かつたことなど、海外ならではのお話を、できれば写真も添えてお送りください。また、これから海外へ出かける会員の方へのアドバイスもお待ちしています。

※掲載される面にも会員番号を忘れず記入してください。あて先はp.16をご覧ください。なお、お送りいただいた写真はご返却できませんので、焼増しなどをしてからお送りください。



クリスマスのイラストも大募集！10月10日(水)締切りです。

EAの『ハッピープリンス』をやって2ヶ月経ちます。

昔はラジオで基礎英語を聴いていたのですが、テレビやラジオと違って『ハッピープリンス』は教材的に優れていて、やり通すことができました。メグ・ライアンの先生ぶりは素敵で、またパックンの教え方も上手いです。頭の中にストーリーが展開していって、とても憶えやすいです。

これから1年間、『ハッピープリンス』を楽しみたいと思います。みなさんも一緒にやりましょう！

ところで『ハッピープリンス』のPretty Girl、メグ・ライアンの映画『シティ・オブ・エンジェル』を見ました。メグ・ライアンがとても映画に真剣で、医者の役なのですが、メスの使い方をとてもよく勉強しています。ニコラス・ケイジと共に演していますが、はまっていました。

それから『電話で抱きしめて』『めぐり逢えたら』『ユー・ガット・メール』も見ました。メグはとても笑い上戸でコメディ映画によく似合います。また、女優として繊細で頭もよく、日本通です。日本車の話とかが映画に出てきます。演技も上手く身のこなしがいいです。ダイアン・キートンと共に演していた『電話で抱きしめて』が一番よかったです。これはコメディで、犬が出てきて笑えます。

みなさんも、ぜひ1回見てみたらいかがでしょうか。

HD107775-O 寺田



★寺田さん、『ハッピープリンス』を気に入っていただけて感激です。1年間楽しんでくださいね。ラブコメの女王とも言われたメグの笑顔は、本当にチャーミングですよね。 ★鴉鳥さん、コカ・コーラのCMソングは聞いてるだけで楽しくなりますね。 (編)

どしどし送って下さい

▼EA会員のみなさんからのおたよりや写真、イラストをお待ちしています！写真はご返却できませんので、焼増しなどをしてからお送りください。モノクロ掲載ですのでイラストは黒インクで、また、縮小されるのでイラストに添えるメッセージは大きな字で、ハッキリと書いてください。海外での体験記、嬉しいご報告など文章のみの投稿もお待ちしています。(長めの文章はこちらで編集させていただきますので、あらかじめご了承ください)

▼文通やメル友、情報交換を希望する方は、自己紹介と希望する条件などを書いてください。また手紙やメールを出す時は、相手のアドレスと自分のアドレスを正確に書き、お断りする場合はその旨を相手に伝えるなど、ルールとマナーを守って楽しく交流してくださいね。

投稿のきまり

▼One-Line Jokeは10/10(水)、メンバーからのおたよりは9月末までに投稿してください。どちらもMEET 12月号に掲載予定です。(メンバーからのおたよりは、応募者数によって掲載月が多少前後することもあります。あらかじめご了承ください)

▼必ず①住所②氏名③会員番号の3点を明記してください。イラストの描いてある面など掲載される面にも会員番号を書いてください。なお、退会された方、休止中の方の会員番号は無効です。下記のあて先まで、たくさんの楽しいおたよりをお待ちしています！

〒150-8688 東京都渋谷区鉢山町15-5
アカデミー出版 編集部 MEET 係

編集後記

■これまでMEETでも何度も紹介をしてきた、オーソン・ウェルズ先生の『市民ケーン』。いつ観てもすごいなと思っていましたが、またしても名画のベストワンに選出され、改めてすごい作品だと思いました。毎年たくさんの映画が作られて、いろいろな記録がどんどん塗り替えられていくのに、もう何十年も1番であり続けているって本当に素晴らしいことです。芸術の秋、ぜひDVDでも観てみてください。作品の素晴らしさはもちろん、25歳の若さで監督・脚本などを手掛けたと思うと、その天才ぶりにため息が出ちゃいますよ。

■そして、読書の秋を楽しむみなさんは、ぜひアカデミー出版の新刊をチェックしてくださいね。どれも一気に読んでしまいたくなる面白さです。秋の夜長にピッタリですよ。

■気がつけば秋。クリスマスのイラストの募集を始めると、もうそんな時期なんだとしみじみしてしまいます。みんなのおハガキにもよく書かれていますが、本当に時間が経つのはあっという間ですね。今年1年やり残したことないように、そろそろラストスパートをかけたいものです。やり残したこと……例えば国内旅行とか、もしくは海外旅行とか。う~ん、旅行ばっかりですね。

■学生時代はビックリするくらい時間があったように思います。映画を観てテレビも見て、バイトをして遊んで、もちろん勉強もして、旅行にも行って。その上、夜更かし朝寝坊。どうやって時間を作り出していたのか自分でも不思議です。学生のみなさんはどうしているんでしょうか？ ぜひ時間の増やし方(?)を教えて欲しいものです。